

庁議の概要

開催日 令和8年5月25日（月）

◎項目

- 1 「職員がいきいきと活躍し、挑戦し続ける県庁」（仮称）の実現に向けて【総務部】
- 2 今週の動き【全部局】

◎内容

- 1 「職員がいきいきと活躍し、挑戦し続ける県庁」（仮称）の実現に向けて

○総務部長

人口減少の克服のため、高知の若者や女性が、自然豊かな環境でいきいきと活躍し、ゆとりのある生活ができる社会を実現することが重要。そのため、まずは県庁が率先して、こうした職場環境づくりの取り組みを進めていかなければならない。

一方で、庁内を見ると、県が管理する一部の施設における建築基準法に基づく点検の未実施や包括外部監査での県営住宅の不十分な管理について再度の指摘といった案件が生じており、コンプライアンスの徹底、ガバナンスの強化が必要。こうした現状や課題に真正面から向き合い、「改革のコスト」を「未来の効率化への投資」と捉え、計画的に整理・見直しを行っていく。

ビジョンとして、「職員がいきいきと活躍し、挑戦し続ける高知県庁」（仮称）の実現を掲げている。改革の1つ目として、「多様な人材が活躍できる県庁」を掲げている。具体的には、時間外勤務の社会実験、デジタル化のさらなる推進、事務の効率化を進める。デジタル化については、アナログで行っている手続きの洗い出しの調査を総合企画部で進めてもらっている。また、事務の効率化はサマーレビューで実施する。サマーレビューの事業選定の際は、事業のスクラップの視点も加えて欲しい。

改革の2つ目として、「課題を先送りせず、挑戦できる県庁」を掲げている。こちらでは法令遵守と積年の課題の処理に取り組んでいただきたい。

年度前半の9月までに個別対応やサマーレビューなどを通して方向性と具体の対策の進め方の検討をして取りまとめるので、ご協力をお願いします。

○総合企画部長

総務部長の説明に補足する。

総合企画部デジタル政策課でアナログ手続きの調査を実施している。これに関連して、県証紙が来年7月に廃止されるが、廃止後でないと電子収納への見直しができないと誤解している部署があるようなので、廃止を待たずに電子収納への見直しができることを周知したい。

また、手続きの件数が多いものなどはデジタル政策課が伴走支援をさせていただくので、場合によってはシステム改修も含めた対応を検討していただきたい。

○知事

総務部長が言ったとおり、文字通り「職員に優しい」というキャッチフレーズのもと、次の世代の職員に負の遺産を残したくない。一度に解決できなくてもいいので、積年の課題についてこの機会にみんなで解決策を考える流れを作りたい。

前向きな課題というよりは、本来、法令上実施が求められているのにできてないものをどうするかという点に問題意識がある。予算化は避けて通れないが、前提としてやり方を変えていくことが重要。

2 今週の動き

○林業振興・環境部長

今週の話ではないが、6月1日から第3弾の省エネ家電補助がスタートするので周知させていただく。

○東京事務所長

国の補正予算案は、財務省が補正予算書を6月3日以降回付予定。内容としてはガソリン、電気・ガス補助の積み増しとのこと。

また、骨太の方針の閣議決定は7月5日頃になる可能性がある。今年は成長戦略や予算編成、危機管理投資枠の設定や予算編成の見直しなどもあるので調整が遅れているようだ。引き続き情報収集に努め、入手次第、共有させていただく。

○知事

国も補正予算を講じるということで、県としても6月議会に間に合うものは補正予算に計上するように機敏な対応、準備をお願いします。

先週、山梨で将来世代応援知事同盟の会合があったほか、津市長ともスマートシュリンクについて意見交換をしてきた。本日の日経にも記事が出てPRできた。意見がいろいろあるが、進めて結果を出していきたい。PRしやすい空気も出てきたので、是非全国初の発案を仕込んでほしい。